

稚内市学校施設整備方針

学校施設耐震化推進のために

平成20年12月

稚内市教育委員会

1 整備方針策定の目的と耐震化の基本的な考え方

(1) 整備方針策定の目的

本市の学校施設は、建設後30年以上を経過した建物が多く、老朽化が進行しており、特に市内の大規模校がこれに該当する。

一方で、平成7年に発生した阪神淡路大震災以降、学校施設（公共施設）の耐震性が改めて注目され、同年12月に施行された「建築物の耐震改修に関する法律」により、公共建物等について一層の耐震改修の促進を図ることとされ、学校施設においては、新耐震基準（昭和56年）以前に建築された校舎・屋体等を対象に耐震診断を実施するとともに、耐震性のない建物については、耐震化推進計画を策定し、早期の耐震化を図ることが必要となった。

したがって、本市の学校施設においては、耐震化の推進が老朽化校舎の整備と深く関係することとなるが、少子化の影響による学校の統廃合の問題も避けて通ることができない大きな課題でもある。

本方針は、このような背景のなか、先に策定した「稚内市立小中学校再編方針及び実施計画」との整合性を図るなかで、本市における学校施設の総合的な整備目標を設定し、計画的かつ効率的な耐震化を推進するために策定するものである。

(2) 対象施設及び計画期間

① 対象施設

稚内市教育委員会が所管する小中学校の施設

② 計画期間

平成21年度から平成30年度までの10年間

(3) 耐震化の基本的な考え方

① 耐震化の基本方針

学校施設は、児童・生徒にとって一日の大半を過ごす学習・生活の場であると同時に、施設の一般開放によりスポーツはもとより、生涯学習や地域住民のコミュニティ活動の拠点として日々活用されている。

また、地震や風水害などの非常災害時においては、地域住民の避難場所として指定されており、地域防災拠点としての役割を担っている。

このように、多機能を有する学校施設の安全基準を確保することは、設置者としての責務であり、安全・安心な教育環境を整えることはもとより、本市のような小都市では、学校施設以外に防災拠点としての代替施設が確保できないことを考え合わせると、学校施設の耐震化の推進は重要かつ急務である。

② 耐震化の推進と小中学校再編方針

学校施設の耐震化を実施するに当たっては、新耐震基準に合致しない校舎について独自の優先度ランクを策定し、それに従って耐震化事業を進めていくこととする。

この場合は、次のような視点で優先度を判定することとする。

- ・すでに事業化が決定している校舎を優先する。
- ・建築年度の古い校舎から耐震化を進める。
- ・先に実施した耐震化優先度調査により優先度が高い校舎から耐震化を進める。

以上の3点を総合的に判断し耐震化の優先度を決定することとするが、この場合であっても、先に策定した「稚内市立小中学校再編方針及び実施計画」のなかで、統廃合対象校となっている学校については、当該整備方針での計画化は行わず、再編計画が確定次第、随時、整備方針に追加するものとする。したがって、その間は、一般補修等によって建物の維持保全を図っていくものとする。

(4) 耐震化の具体的な進め方

① 計画期間の対象建物と対象外建物

昭和56年以前の旧建築基準法(旧耐震基準)で建設された建物のなかで、(3)

②で述べた理由により、次のように対象建物と対象外建物とに区分する。

【対象建物】

番号	学 校 名	校 舎		屋 体	
		経過年数	棟 数	経過年数	棟 数
1	南小	45年他	10棟	34年	2棟
2	東小	—	—	35年	1棟
3	声問小	34年他	2棟	34年	1棟
4	富磯小	41年	2棟	28年	1棟
5	潮見小	33年他	6棟	31年	1棟
6	天北小	—	—	29年	1棟
7	稚内中	47年他	8棟	34年	2棟
8	南中	31年	4棟	30年	1棟
9	東中	38年他	7棟	38年	1棟

【耐震化事業の優先度ランク】

A ランク	東中学校校舎（改築） 東中学校屋体（改築） 富磯小学校校舎（改築）
B ランク	南小学校校舎（改築） 南小学校屋体（耐震改修又は改築） 東小学校屋体（耐震改修） 稚内中学校校舎（耐震改修又は改築） 稚内中学校屋体（耐震改修）
C ランク	声問小学校校舎（耐震改修） 声問小学校屋体（耐震改修） 潮見小学校校舎（耐震改修） 潮見小学校屋体（耐震改修） 天北小学校屋体（耐震改修） 富磯小学校屋体（耐震改修） 南中学校校舎（耐震改修） 南中学校屋体（耐震改修）

④ 他の学校施設との関連

改築事業の際は、グラウンド等の改修に至らないよう配慮するとともに、学校プールや市民プールは、統廃合の検討を行う必要がある。

一方、耐震改修を行う建物は、設備関係の老朽化に対応する手法を検討しなければならない。

【学校施設の棟別状況表】

※W→木造 S→鉄骨 R→鉄筋コンクリート

No.	学校名	棟番号	用途	構造	建設年度	面積 ㎡	経過 年数	新耐震 基準	優先度 ランク	適用
1	中央小	027	校舎	R	H10.07	4,933	10	○		
		029	屋体	R	H11.10	1,049	9	○		
2	南小	004-1	校舎	R	S41.12	512	42	×	②-①	
		004-2	校舎	R	S47.11	516	36	×	④-①	
		006-1	校舎	R	S38.12	874	45	×	②-①	
		006-3	校舎	R	S55.10	257	28	×	④-①	
		007-1	校舎	R	S40.12	381	43	×	①-③	
		007-2	校舎	R	S41.12	243	42	×	②-①	
		007-4	校舎	R	S48.11	690	35	×	③-②	
		007-5	校舎	R	S55.10	225	28	×	④-①	
		022-1	校舎	R	S48.11	774	35	×	③-②	
		022-2	校舎	R	S49.05	900	34	×	④-①	
		025	屋体	S	S49.10	41	34	×	④	
26-1	屋体	S	S49.10	1,008	34	×	②			
3	東小	015-1	屋体	R	S48.11	154	35	×	⑤-①	渡り廊下 維持管理
		015-2	校舎	R	S48.11	154	35	×	⑤-①	
		022	屋体	S	S58.10	101	25	○		
		023-1	屋体	R	S58.10	877	25	○		
		024	校舎	R	H03.03	5,662	17	○		
4	西小	006-1	校舎	R	S44.03	408	39	×	③-①	統廃合検討該 当校
		010	校舎	R	S46.11	483	37	×	③-①	
		017	屋体	S	S54.07	137	29	×	④	
		020	校舎	R	S61.11	105	22	○		
	西中	009	屋体	S	S54.07	612	29	×	③	統廃合検討該 当校
		010	校舎	R	S54.07	368	29	×	⑤-③	
017		校舎	R	H05.11	1,084	15	○			
5	下勇知小	011	校舎	R	S58.10	433	25	○		統廃合検討該 当校
		012	屋体	S	S58.10	410	25	○		
	下勇知中	009	校舎	R	S58.10	222	25	○		統廃合検討該 当校
		010	屋体	S	S58.10	118	25	○		
		015	校舎	W	H11.08	162	9	○		

No.	学校名	棟番号	用途	構造	建設年度	面積 ㎡	経過 年数	新耐震 基準	優先度 ランク	適用
6	上勇知小	016	校舎	R	S54.11	1,152	29	×	④-①	統廃合検討 該当校
		017	屋体	S	S54.11	370	29	×	③	
		026	校舎	R	S54.11	41	29	×	④-①	
	上勇知中	009	校舎	R	S54.11	397	29	×	④-①	
		010	屋体	S	S54.11	173	29	×	③	
7	声問小	011-1	校舎	R	S49.12	904	34	×	⑤-①	
		011-2	校舎	R	S49.12	196	34	×	⑤-①	
		012	屋体	S	S49.12	448	34	×	②	
		017	校舎	R	S59.11	695	24	○		
		020	校舎	R	H06.10	100	14	○		
8	増幌小	009	校舎	R	S56.11	1,018	27	×		統廃合検討 該当校
		010-1	屋体	S	S56.11	419	27	×		
	増幌中	003	校舎	R	S56.11	481	27	×		統廃合検討 該当校
		004	屋体	S	S56.11	119	27	×		
9	宗谷小	015	校舎	R	S63.10	1,400	20	○		維持管理
10	大岬小	016-1	屋体	S	S57.11	543	26	○		維持管理
		023	校舎	R	H01.11	1,970	19	○		
11	富磯小	001	校舎	R	S42.12	975	41	×	③-①	
		002	校舎	R	S42.12	96	41	×	③-①	
		012	屋体	S	S55.10	538	28	×	②	
12	東浦小	007	校舎	R	S55.11	390	28	×	⑤-①	統廃合検討 該当校
		003-3	屋体	S	S61.12	406	22	○		
		007	校舎	R	S55.11	265	28	×	⑤-①	
13	港小	001	校舎	R	S46.11	1,344	37	×	②-①	統廃合検討 該当校
		002	校舎	R	S46.11	1,083	37	×	①-④	
		003	校舎	R	S46.11	1,332	37	×	①-③	
		004-1	屋体	S	S47.09	755	36	×	④	
14	潮見小	001	校舎	R	S50.11	1,670	33	×	④-①	
		002	校舎	R	S50.11	643	33	×	⑤-①	
		003-1	校舎	R	S50.11	766	33	×	⑤-①	
		003-2	校舎	R	S56.10	403	27	×		
		007	屋体	S	S52.06	774	31	×	②	
		010	校舎	R	S53.10	106	30	×	④-①	
		011-1	校舎	R	S53.10	812	30	×	⑤-①	
		011-2	校舎	R	S63.08	94	20	○		
		011-3	校舎	R	S63.08	94	20	○		

No.	学校名	棟番号	用途	構造	建設年度	面積 m ²	経過 年数	新耐震 基準	優先度 ランク	適用
15	天北小	018	校舎	R	S54.11	1,230	29	○		H12 耐震改修 済
		019-1	校舎	R	S54.11	267	29	○		
		020	屋体	S	S54.11	543	29	×	③	
	天北中	009	校舎	R	S54.11	577	29	○		H12 耐震改修 済（診断）
		010	校舎	R	S54.11	523	29	○		
016		校舎	R	H13.11	1,052	7	○			
16	稚内中	009	校舎	R	S36.12	818	47	×	③-①	
		022	校舎	R	S47.11	55	36	×	④-②	
		023	校舎	R	S47.11	1,194	36	×	④-②	
		024	校舎	R	S47.11	768	36	×	④-①	
		028-1	校舎	R	S48.09	2,160	35	×	④-①	
		028-2	校舎	R	S48.11	360	35	×	④-①	
		029	校舎	R	S48.11	32	35	×	⑤-①	
		030	校舎	R	S48.11	492	35	×	⑤-①	
		032	屋体	S	S49.10	1,088	34	×	②	
033	屋体	S	S49.10	41	34	×	④			
17	南中	019	校舎	R	S52.08	2,434	31	×	④-①	
		020	校舎	R	S53.03	823	30	×	⑤-①	
		021	校舎	R	S53.03	1,895	30	×	⑤-①	
		022	校舎	R	S53.03	68	30	×	⑤-②	
		024	屋体	S	S53.10	1,216	30	×	③	
		025	屋体	R	S53.10	86	30	×	③	
18	東中	001-1	校舎	R	S45.08	3,128	38	×		耐力度調査済 み 危険校舎
		001-2	校舎	R	S47.11	446	36	×		
		001-3	校舎	R	S50.11	445	33	×		
		001-4	校舎	R	S54.12	70	29	×		
		001-5	校舎	R	S56.10	502	27	×		
		002	屋体	S	S45.09	914	38	×		
		004-1	校舎	S	S46.11	170	37	×		
		004-2	校舎	S	S56.09	183	27	×		
19	宗谷中	028	校舎	R	H12.12	2,082	8	○		維持管理
		030	屋体	S	H13.10	998	7	○		

No.	学校名	棟番号	用途	構造	建設 年 度	面積 ㎡	経過 年数	新耐震 基 準	優先度 ランク	適 用
20	潮見中	001-1	校舎	R	S57.12	911	26	○		維持管理
		001-2	校舎	R	S58.11	435	25	○		
		001-3	校舎	R	S62.08	235	21	○		
		002	校舎	R	S57.12	1,347	26	○		
		003-1	屋体	S	S57.12	1,018	26	○		
		006	校舎	R	S58.11	1,448	25	○		